

各 位

会 社 名 株式会社 JVC ケンウッド
 代表者名 代表取締役 兼 CEO 河原 春郎
 (コード番号 6632 東証第一部)
 問合せ先 取締役 兼 CSO 田村 誠一
 (TEL 045-444-5232)

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 26 年 1 月 31 日に公表しました平成 26 年 3 月期通期連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 1 月 31 日発表)	310,000	1,000	△3,000	△7,000	円 銭 △50 48
今回修正予想 (B)	316,000	4,400	△100	△6,600	円 銭 △47 60
増 減 額 (B-A)	+6,000	+3,400	+2,900	+400	
増 減 率 (%)	+1.9%	+340.0%	—	—	
(参考) 前期実績	306,580	9,603	3,106	1,146	円 銭 8 27

2. 通期連結業績予想修正の理由

連結の売上高については、消費税増税前の駆け込み需要によるカーエレクトロニクス市販事業やプロフェッショナル事業の国内販売における増収効果や、国内の放送事業者向け業務用無線システムの売上が想定を上回り、自動車メーカーの増産の影響によって光ピックアップや光ディスクドライブ事業の海外販売も想定を上回ったことなどから、前回予想を約 60 億円上回る見込みです。

連結の営業利益については、売上高の増収要因に加えて、カーエレクトロニクス市販事業において国内市場に前倒し投入した円安対応の新商品による原価改善や高付加価値商品の売上構成比アップに加え、イメージング事業における不採算機種種の絞り込みによる収益改善などの「原価総改革」の効果、人件費やその他経費の節減などにより、前回予想を約 34 億円上回る見込みです。

連結の経常利益については、営業利益の増収要因から為替差損など営業外損益の悪化影響を差し引き、前回予想を約 29 億円上回る見込みです。

連結の当期純利益については、経常利益の増収要因に対し、海外構造改革による特別損失、不動産売却に係る減損処理に加え、税金費用の増加などにより、前回予想を約 4 億円上回る見込みです。

(注) 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上